

「教育の敬愛」として大学、短期大学が共に学ぶ新教育棟が、2月末日予定とおり竣工致しました。3月上旬から順次、家具等が搬入され、4月1日稼働を開始します。ご期待ください。

学校法人千葉敬愛学園は、総合学園として魅力ある教育環境の整備を進めています。その二環として、2024年4月稲毛キャンパス整備に伴い、千葉敬愛短期大学が佐倉キャンパスから稲毛キャンパスに移転し、校名を敬愛短期大学に変更します。併せて、新たな学びの拠点となる新教育棟により、文教のまち「稲毛」で大学生・短大生が共に学ぶ合つ活気あるキャンパスが誕生します。地上9階、地下1階の新教育棟は、本学園のビジョンを具現化するものです。学生が生き生きと学ぶキャンパスを実現し、地域に開かれた学園としてさらに発展することを目指します。

新教育棟は2026年に迎える創立100周年の学園の伝統と教育力を社会に発信するランドマークとしても機能します。大空にたなびく白くやわらかな「雲」をモチーフにした外観は、町に溶け込みながら新鮮な感動を与えます。学生の交流をサポートする学生ホールやリニューアルした図書館、食堂等を備え、活気を生み出すことが期待されます。敬愛大学・敬愛短期大学は、地域に開かれた大学・短期大学としての新たな一歩を踏み出します。

新教育棟は2026年に迎える創立100周年の学園の伝統と教育力を社会に発信するランドマークとしても機能します。大空にたなびく白くやわらかな「雲」をモチーフにした外観は、町に溶け込みながら新鮮な感動を与えます。学生の交流をサポートする学生ホールやリニューアルした図書館、食堂等を備え、活気を生み出すことが期待されます。敬愛大学・敬愛短期大学は、地域に開かれた大学・短期大学としての新たな一歩を踏み出します。

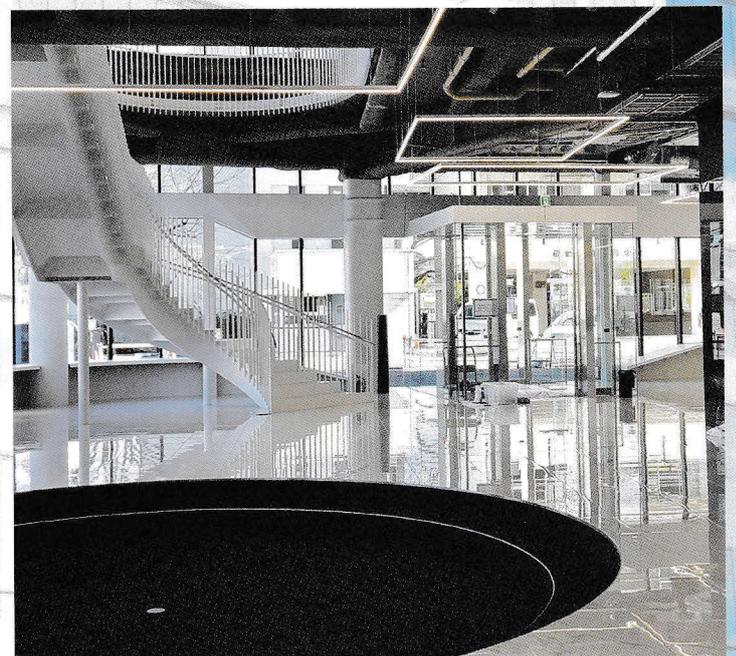
## 2F 図書館

木目調の書庫は、温かみを感じます。蔵書数は、約10万冊を予定しています。



## 1F 学生ホール

2階に続く階段が吹き抜けとなっています。立体的で広々とした空間が広がり、開放感と居心地の良さを演出します。テーブルや椅子が配置され、憩いの場としても機能します。



## 3F 学生食堂

おしゃれなカフェのように明るく、広々としたスペースの食堂です。リラックスしながら友達とゆっくり食事をし、午後の授業に向けてエネルギーを再充填できます。



# 2024年度4月 新教育棟竣工

## 新教育棟デザインコンセプト

### 1・学びが連鎖し交流が生まれる キャンパス

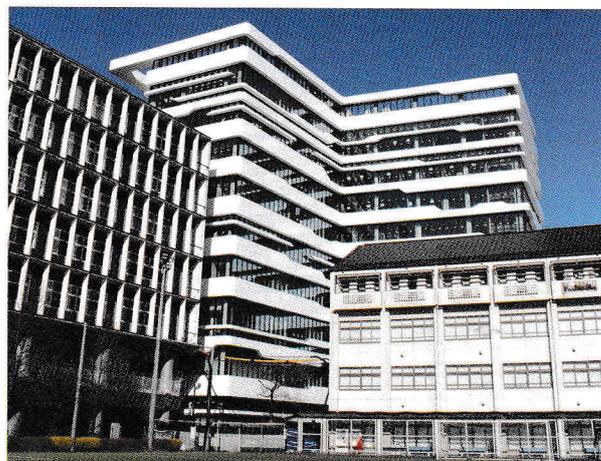
敬愛大学のビジョンである「グローバルな社会における多様な人々との協働〜ポスターを超える〜」を実現します。大学や地域、学部学科や専門性のポスターを超えた様々な人々との交流・協働・連携を促進し、学びの連鎖を生み出します。

### 2・新たな時代の変化に対応できる キャンパス

「新たな時代の変化に対応する教育〜Society 5.0に対応できるAI人材を養成〜」を実現するため、最新のICT(情報通信)機器を充実させます。「人間の強み」を発揮する想像力(I-magination)と創造力(Creativity)の双方を豊かに備えてAIを活用できる人材を育成します。

### 3・持続可能性に配慮した環境・景観と調和するキャンパス

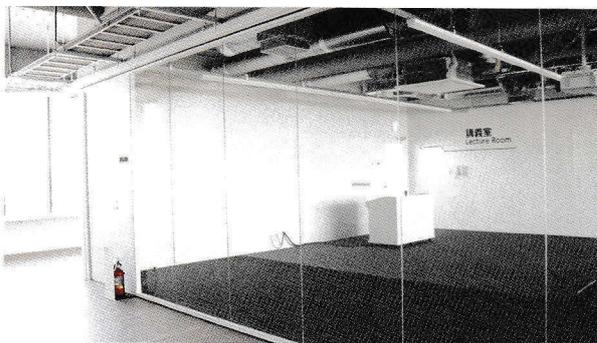
本学園のビジョンである「地域の伴走者〜地域との関わりを重視し、地域に愛される学園運営をする〜」を実現するため、環境に配慮し、町と調和するキャンパスを創造します。社会や地域、人との関係を責任をもって、より良くしていくこととする実践力を育て、SDGs(持続可能な開発目標)の実現に貢献します。



3号館に隣接、地上9階建てで見晴らしもよく、スタイリッシュな外観が印象的です。大空にたなびく白くやわらかな「雲」をイメージしたデザインは、周囲の景観に自然に溶け込みます。

## 4F～7F 教室

ホワイトボードが全教室に設置され、活発なディスカッションも可能で、学修効果を高めます。ゼミ・演習では、少人数による密度の濃い授業が展開されます。



## 4F～7F クリエイティブラウンジ

クリエイティブラウンジは、創造の場です。グループワークの発表練習やディスカッション、クラブ・サークル活動についての話し合いなど、様々な目的に使われます。



## 9F テラス

地域で最も高い場所からの景観は素晴らしく、天気の良い日には富士山がはっきり見えます。

